

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成28年度採択分）  
 「英文機関誌の論文掲載促進を通じた国際情報発信強化に関する取組」  
 （課題番号：16HP2010）

学術団体名：環太平洋産業連関分析学会  
 学術刊行物の名称：Journal of Economic Structures  
 事業期間：平成28年度～平成32年度

## 1 取組の概要

### 1. 取組内容の特徴と目的、意義及び方法

本取り組みは、環太平洋産業連関分析学会の英文率100%のJournal of Economic Structures誌(JES誌)を通じて、海外に質の高い論文を積極的に発信していく取り組みである。

### 2. 応募時に設定した取組の目標・評価指標

本取り組みの目標は以下のとおりである。

- (1) 論文投稿数を平成27年の投稿数57件(平成27年11月5日時点)から平成30年に年間70件、事業完了時(32年)に年間100件とする。本助成金を利用し著者の論文掲載費用を学会で補助し、投稿数を年間100本に引き上げる。日本人著者による英語論文の掲載強化を図る。
- (2) JES誌をWeb of Science(トムソン・ロイター社)のジャーナルリストにのせ、インパクトファクターを得るために、助成期間内に論文掲載数を経常的に30本以上にする。
- (3) JES誌に掲載論文を対象にLawrence R. Klein Awardを授与し受賞者の招待講演を実施する。
- (4) 日本人研究者の質のよい英語論文を獲得するため、日本人著者には英文校閲補助を行う。
- (5) 7つの特集号を刊行する。日本から重要な研究論文を海外に発信していく。

## 2 目標の達成状況

### 1. 現在までの目標の達成状況

#### (1) Journal of Economic Structures誌の運営状況について

- ① 創刊5年目の2018年1月に、5年間の契約で契約更新を行った。
- ② 投稿数は平成29年に年間114件となり終了年度目標を実現した。
- ③ 論文掲載数は、平成27年19本、28年28本、29年38本、30年1月～10月28本となり、掲載論文数30本の目標を実現した。
- ④ アクセス数は応募時の累計31,711件から累計157,412件に増加。
- ⑤ 2017年7月にScopus journals listにJES誌が掲載された。
- ⑥ ローレンス・クライン賞を28年度に1件、30年度に2件選定。
- ⑦ JES誌の特集を追加して編集している。

#### (2) JES誌の運営と学会活動の連携

- ① 会員数が応募時の383名から中間評価時には414名に増加した。
- ② 学会発表数・英語での発表数が大幅に増加し、学会が活性化。
- ③ 海外の連携学会が3団体から6団体に増え、連携が深まった。

## 2. 今後の計画

- ① トムソン・ロイター社のWeb of Scienceのjournals listへの掲載、及びインパクトファクター取得を実現する。
- ② 年間論文掲載数を応募時目標の30本から40本程度に引き上げる。  
 そのために、秋の全国大会、3月の国際会議の報告数を増やす。
- ③ 日本人の投稿数を増やし日本からの質の良い論文の掲載を増やす。
- ④ JES誌の運営と学会活動を分離させず、両者の密接な連携を図る。

